

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	451 健康21推進事業	会計	01	一般会計
基本	01 10万市民の健康を維持する	款	04	衛生費
施策		項	01	保健衛生費
3		目	01	保健衛生総務費
細目	3 市民主体の健康づくり活動の推進	106	健康21推進事業	
細々目		01	健康21推進事業	
基本計画該当頁		60		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 130900	評価者	清水 健司	連絡先 22 - 9653 (内線) 2665
	名称 健康福祉部 健康推進課	氏名		

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民	(※対象件数)	豊かな人生が送れるよう、健康に関するアドバイスにより、健康保持の意識が向上する。
事業内容	すべての市民が健康で快適な生活を送ることができるよう、生活習慣改善の必要性についての知識を普及・啓発し、市民一人ひとりの健康づくりを推進するために「健康づくり講演会」「こころの健康リスナー研修」を開催。	状況変化等 平成19年度までは、健康まつりを生活環境部と共同で実施したが、平成20年度からは、廃止とした。これに替わる事業として、20年度は、講演会形式をとったが、参加者は100人未満であった。このことから、健康の駅長の更なる活動増強として、21年度は、秋に実施予定の「がん検診・若年者健診」の開催場所にて健康展を実施予定。
根拠法令・要綱等 伊賀市健康づくり推進条例		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	報償費		(千円) 270	報償費		(千円) 100	報償費		(千円) 105	報償費		(千円) 105	報償費		(千円) 105	報償費		(千円) 105
		需用費		1,101	需用費		18	需用費		125	需用費		125	需用費		125	需用費		125
工事	事業内容	委託料		489	使用料		75	使用料		70	使用料		70	使用料		70	使用料		70
		使用料		265															
進捗率 (%)		事業費計(A)	Σ	2,125	事業費計(A)	Σ	193	事業費計(A)	Σ	300	事業費計(A)	Σ	300	事業費計(A)	Σ	300	事業費計(A)	Σ	300
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
フルコスト (A)+(B)				3,565			1,633			1,740			1,740			1,740			1,740

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	2,125	193	300	300	300
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	2,125	193	300	300	300
計	2,125	193	300	300	300
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
健康づくり講演会実施回数	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
こころの健康「リスナー研修」実施回数	回	目標 5 実績 6	目標 5 実績 6	6	6
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
講演会参加者数	相談者、測定者の増加は、健康保持の意識向上となる。	人	目標 150 実績 126	目標 150 実績 107	150	150
リスナー研修受講者	よき傾聴者「リスナー研修」を育てることは、ストレスを溜めない生活習慣を啓発できる。	人	目標 100 実績 209	目標 150 実績 198	170	170

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	「健康日本21」「ヘルシーピープルみえ21」「健康21計画」において、市民の自主性・主体性を重視した「一次予防」的発想へと方向性を転換した計画となっており、「健康は自分でつくるもの」という思想の普及を市が推進するよう規定されている。このことから、研修会・講演会といった市民が楽しんで積極的に健康づくりを推進できるような体制が求められている。
有効性	3	メンタルヘルスの基礎知識、リラクソスの研修において、よき理解者の浸透を促める。
達成度	4	リスナー研修について、目標を達成しており現実実施回数を継続する。
効率性	4	健康まつり廃止による委託料・会場使用料の削減とリスナー(傾聴者)研修についても無料施設を使用することでコストの削減を図った。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	「健康づくり講演会」及び「がん検診」会場での健康器具を使った測定を実施。